



# 道するべ

第11号  
平成23年12月

長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 道守養成ユニット事務局

## 斜面の点検実習を実施しました。

11月24日（木）に本年度の新たな取組みとして、道守、特定道守認定者及び受講生を対象に『斜面の点検実習』を開催しました。認定者などを含め8名の参加があり、大瀬戸・西海周辺の斜面を対象に実習を行いました。内容は、長崎県で使用している定期点検チェックシートをもとに斜面の変状を項目ごとに確認し写真を撮影して、最終的に点検シートを完成させるというものです。

今回、基礎地盤コンサルタンツの福井氏に実習の講師として点検のポイント、シート作成等の説明をしていただきました。参加された皆様は大変熱心に耳を傾けられ、また実習中も点検や対策についての質疑などもあり活気ある有意義な点検実習となりました。



斜面点検の講義の様子



事前概要説明の様子



斜面点検の様子（その1）



斜面点検の様子（その2）

今後、斜面の点検実習は道守、特定道守コースのカリキュラムのひとつとして盛り込み、認定者及び受講生を対象に実施を予定としておりますので、多数の参加をお待ちしております。

## 橋梁概略点検研修に参加しました。

10月17日（月）に（財）長崎県建設技術研究センター主催の「橋梁概略点検研修」に参加しました。この研修は県職員および職員OB、県内市町自治体職員を対象に実施されているものです。長崎県土木部道路維持課の田崎課長の開会のあいさつのあとに橋梁の損傷や橋梁の概略点検について説明があり、その後バスで移動して実地研修で実際に点検記録を行ないました。内容は道守養成ユニットで実施している点検実習と共通する点も多く、また新たに点検についての知識や県で行なわれて

いる点検手法の詳細がわかり、大変勉強になりました。今後、このような研修に道守認定者が参加して、さらなるスキルアップや技術力の保持に役立てていけたらとも思いました。



実地研修の様子  
(大村市内の橋梁)



作成したチェックシートです。

## 平成23年度の全ての講義を修了しました。

11月18日の講義をもちまして平成23年度の全てのコース（道守、特定道守、道守補（前・後期）、道守補助員）の講義を終了いたしました。11月25日に道守コース、12月3日と10日に道守補後期コースの認定試験まで終了し、現在は合格発表の準備をしております。今回も道守補（後期）コースでは、離島などの遠隔地での開催をDVD講義により実施しました。

受講生の皆さまには、通常業務で多忙の中長期間にわたり道守養成講座を受講していただきありがとうございました。



DVDによる講義の様子（対馬）

## 道守OB会を開催しました。

12月19日（月）に道守一期生及び平成21年度以降の道守、特定道守認定者で集まり、「道守OB会」を開催しました。この会議では7月に2回開催した「一期生のつどい」で出た意見を集約して、再度道守全体として今後活動について議論しました。会議では、ボランティアでの自治体の定期点検参加や清掃活動を広く行い、道守の存在を自治体や地域に広くアピールしていくことが、将来的には認定者の所属企業の業務にもプラスに働くのではないかと意見が出されました。また、道守と自治体が連携していくためには、県内の自治体職員への受講を呼びかけていく必要がある等の意見が多数ありました。



道守OB会の様子



司会進行役をされた 吉川氏（特定道守）



## 道守認定者から出た主な意見

- ・ 認定者のスキルアップにもつながるので道守認定者を活用して、県内各地域にある橋梁の定点観測を県職員と合同で実施していきたい。
- ・ 大学から認定者の要望を長崎県に伝えて、さらに長崎県から各市町自治体に道守認定者の活用を呼びかけて欲しい。
- ・ 長崎県や大学が継続もふくめ道守全体についてどのように考えているか。また運営委員会で意見交換の場が必要ではないのか。(意見交換の場を考えているがまだ行っていない。)
- ・ 一つの案として、その他団体に認定者が参加し、点検等の専門分野の実働部隊として活動する方法も考えられる。
- ・ 認定者として、すべてのインフラの点検について参加したい意欲はあるので、道守として活動する上で理念を掲げ進めていかなければならない。

今回も認定者の方々が、日常業務がお忙しい中集まっていただき、継続について真剣かつ活発な意見が出ました。「道守」の継続等について議論したい課題がございましたら、道守養成ユニット事務局までご連絡下さい。

## 認定後の活動状況。

本年度は、認定後の活動の一環である道守シートの提出が12月現在までに、**35件**と多くありました。道守講座を修了され方の皆さまが熱心に活動されている証です。これからも積極的な道守シートの作成と提出をお願いします。

また、報告例として本年度に道守補助員大村会場にて受講された、市川徳夫さまより河川清掃ボランティアの最中に堤防の護岸コンクリートの老朽化による損傷について報告をいただきました。今後も引き続きご活躍をお願いしたいと思います。

### ※重要：道守認定後の活動報告のお願い

平成23年分の道守認定後の活動内容を更新ポイント用紙に記載して平成24年1月31日までにセンターに報告をお願い致します。更新ポイント用紙及び活動一覧は、道守養成ユニットHPからダウンロードできます。記載方法等ご不明な点は、センターまでお問い合わせ下さい。

※H20～23年度道守補助員認定者の皆様には「活動一覧」「更新ポイント用紙」を同封しております。

## 行事・イベント案内

道守養成ユニット内で行われる行事・イベントについて紹介します。

### シンポジウム開催の案内

テーマ：インフラ長寿命化の“カギ”を握る産学官民連携  
～市民にとってのインフラとは？～

開催日時：平成24年2月10日 13:00～17:30

会場：長崎新聞文化ホール

聴講：無料（先着200名）

講演者：(独) 土木研究所 構造物メンテナンス技術センター

桑原 徹郎様（前長崎県土木部長） 他

※CPDS認定プログラムに認定されています。

# 道守のみちのり(10月~12月)

## 当センターの主な活動内容を紹介します。

- ・11/10/01 第29回日本道路会議で出水研究員が「ナガサキにおける産学官民連携によるインフラ長寿命化への挑戦」について発表。
- ・11/10/06 (社)日本建設業連合会の研修会で松田センター長が道守について講演。
- ・11/10/27 長崎県研修(NERC)にて松田センター長が道守について講演。
- ・11/11/20 JCI中部支部(名古屋)にて松田センター長が道守について講演。
- ・11/10/22 「工学フォーラム2011 in 福岡」のポスターセッションにて社会資本の維持管理へ向けたインフラ長寿命化センターの取り組みを紹介。
- ・11/11/15 日本塗装工業会の会員を対象とした道守補助員コースを長崎大学で催。
- ・11/11/18 本年度の道守養成ユニット講義がすべて終了。
- ・11/11/18 道守補(後期)対馬会場の鋼構造の講義で共同通信社から取材。
- ・11/11/18 第2回山口県の橋梁を考えるセミナーにおいて森田部門長が「長崎大学インフラ長寿命化センターの活動」について講演。
- ・11/11/25 道守認定テストを実施。
- ・11/12/03 道守補(後期)コース認定テストを佐世保で実施。
- ・11/12/10 道守補(後期)コース認定テストを対馬で実施。
- ・11/12/19 第三回道守OB会を開催。
- ・11/12/20 JCI本部(東京)にて松田センター長が道守について講演。
- ・11/12/21 平成23年度市町道路担当者会議で道守養成ユニットについて松田センター長が講演。

## 道守事務局より一言

出水です。本年度の道守の講義も全て無事に終了し、多くの認定者を輩出できそうです。道守の知名度も広がり今年度だけで多くの取材や講演依頼がありました。

全国では、道守の存在が広がりを見せているのですが県内での広がりがいまいちです。もっとアピールしていきたいと思います。来年度は、県内の自治体へのアピール活動に専念したいと思います。ご協力をお願いします。

2月10日にシンポジウム、3月9日に成果報告会を予定しております。お忙しいと思われませんが参加よろしくお願いいたします。

## 問合わせ先

長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 道守養成ユニット事務局

〒852-8521 長崎市文教町1番14号 TEL 095-819-2880 FAX 095-819-2879

Mail: [michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp) URL: <http://ilem.eng.nagasaki-u.ac.jp/michimori>



戦略推進費

※ 道守養成ユニットは文部科学省科学技術戦略推進費で運営しています。